

統計とっとり

平成29年3月1日
第106号
鳥取県地域振興部統計課
TEL 0857-26-7665
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>

平成27年国勢調査 確定値が公表されました



平成27年10月1日を基準日として行われた平成27年国勢調査について、人口や世帯に関する調査結果が公表されましたので、鳥取県に関する結果を紹介します。(資料:平成28年10月26日 総務省統計局)

鳥取県の人口と世帯数

鳥取県の人口は573,441人で、そのうち15歳未満は約13%、15~64歳が約57%、65歳以上が約30%を占めています。

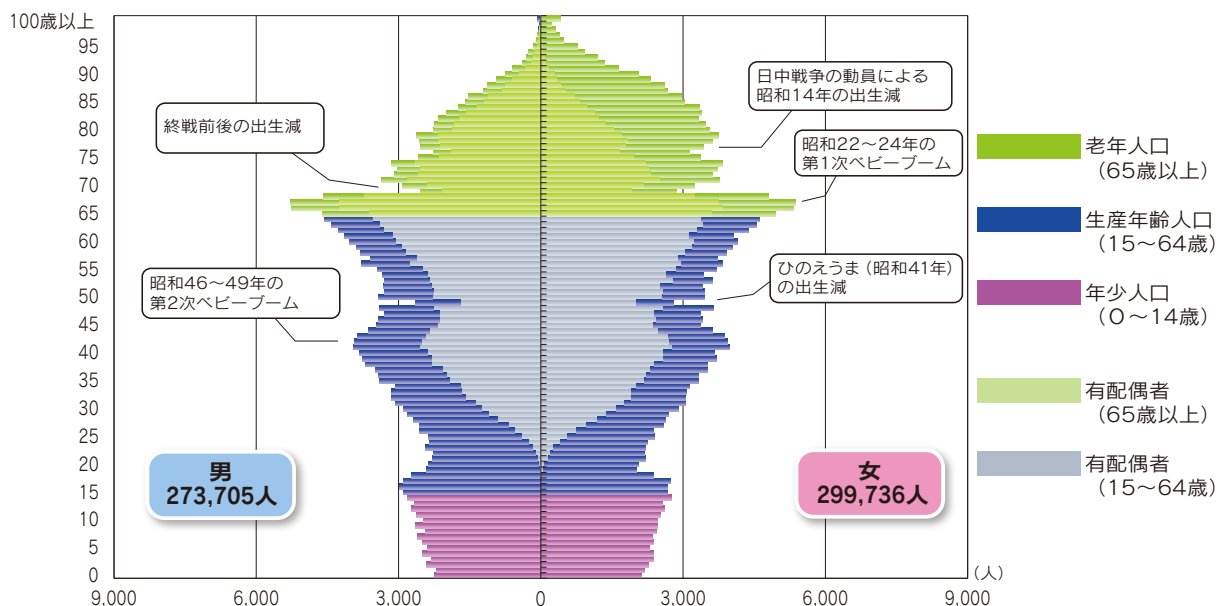
	県人口			年齢3区分別人口(県人口に占める割合)			総世帯数
	総数	男	女	15歳未満	15~64歳	65歳以上	
平成22年	588,667人	280,701人	307,966人	77,951人 (13.4%)	352,098人 (60.3%)	153,614人 (26.3%)	211,964世帯
平成27年	573,441人	273,705人	299,736人	73,685人 (12.9%)	326,301人 (57.3%)	169,092人 (29.7%)	216,894世帯
増減(率)	△15,226人 (△2.6%)	△6,996人 (△2.5%)	△8,230人 (△2.7%)	△4,266人 (△5.5%)	△25,797人 (△7.3%)	15,478人 (10.1%)	4,930世帯 (2.3%)

※年齢3区分別人口は年齢不詳を除く。



ちなみに、鳥取県人口移動調査によると平成29年1月1日現在の人口は568,775人世帯数は217,999世帯と推計されています。

鳥取県の人口ピラミッド



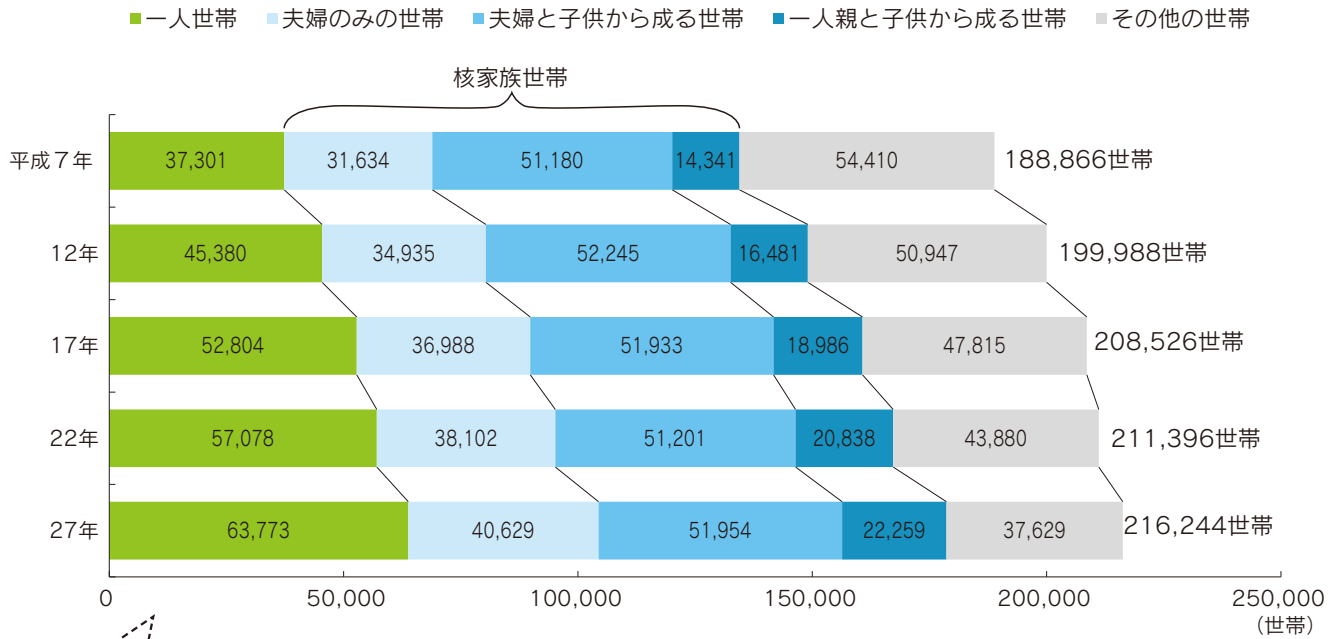


国勢

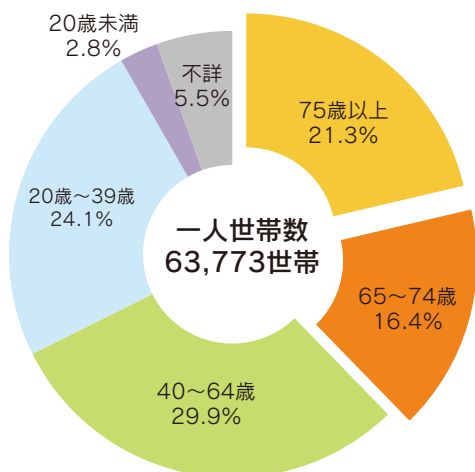
一般世帯の世帯構成の変化

鳥取県の一般世帯の構成をみると一人世帯の増加が著しく、平成7年から平成27年の20年間で約1.7倍になっています。

※一般世帯…総世帯から老人ホームなどの施設に住んでいる世帯を除いた、住宅や会社の寮などに住んでいる世帯。

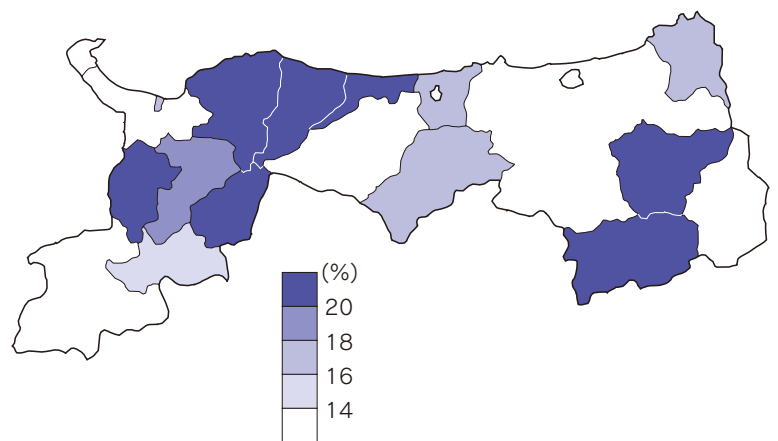


一人世帯の年齢別構成 (平成27年)



一人世帯を年齢別にみると、65～74歳は16.4%、75歳以上は21.3%と、65歳以上の一人暮らしが3分の1以上を占めていることが分かります。

市町村別3世代世帯の割合 (平成27年)

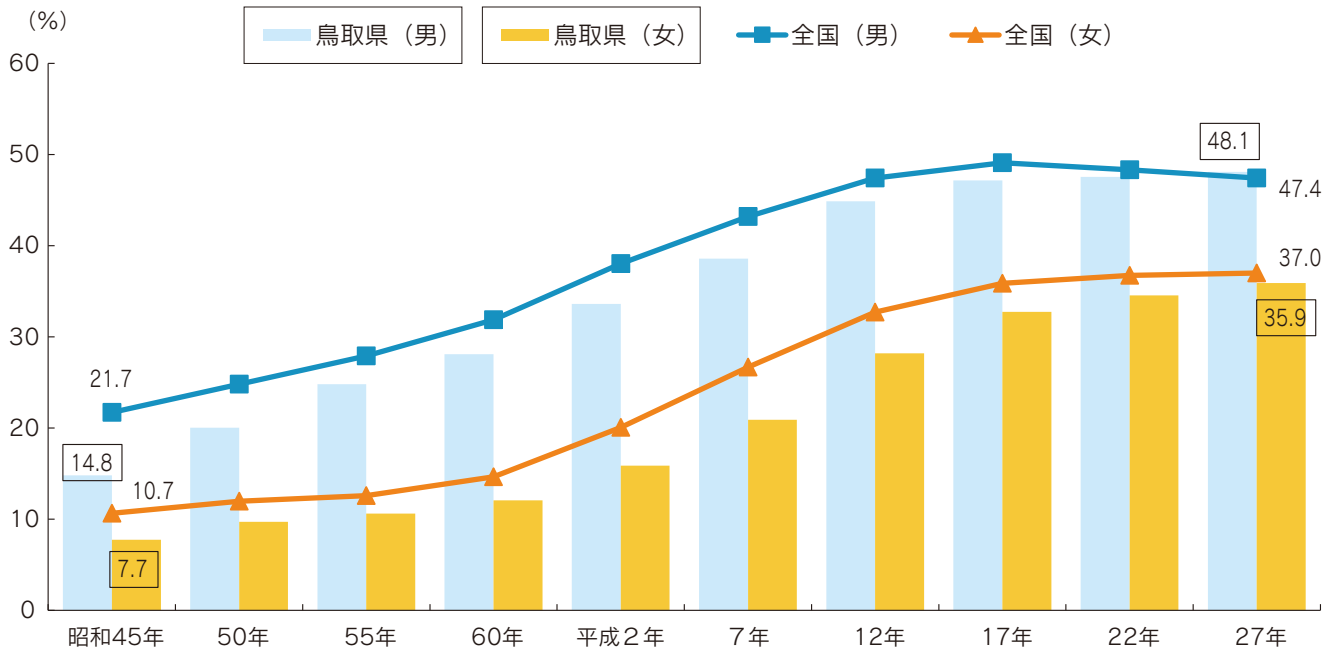


割合の高い市町村		割合の低い市町村	
八頭町	22.5%	米子市	8.2%
江府町	22.4%	境港市	9.0%
大山町	22.1%	鳥取市	10.1%

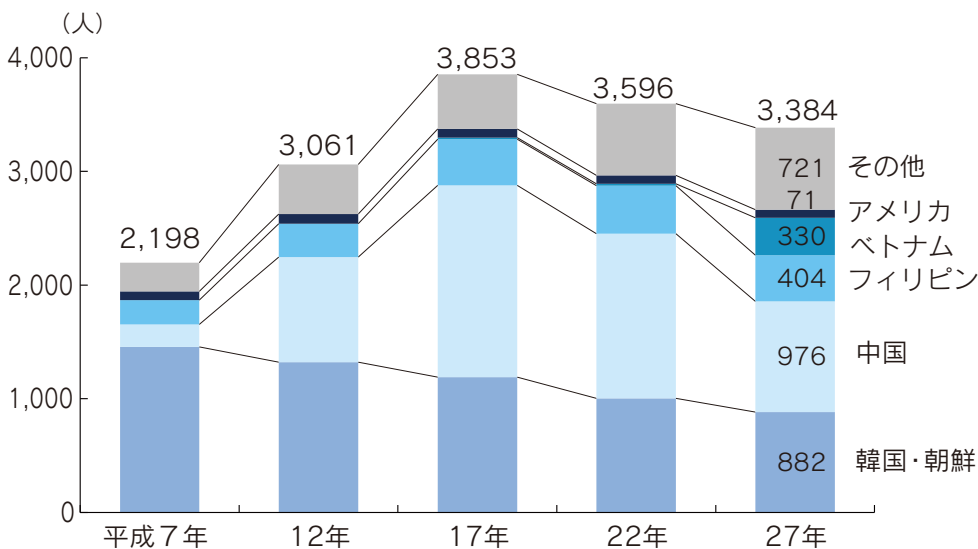
調査 2 15

25～39歳の男女別未婚率（全国比較）

鳥取県の25～39歳の未婚率を男女別で見ると、平成27年は男性が48.1%、女性が35.9%となっています。平成22年と比べると、男性は0.6ポイント、女性は1.4ポイント上昇しました。全国値と比べると、平成27年は男性が0.7ポイント高く、女性が1.1ポイント低い値となっています。



鳥取県に在住する外国人の推移



日本に在住する外国人も、国勢調査の対象者に含まれています。鳥取県に在住する外国人人口の推移をみると、平成7年から平成17年の10年間で約1.8倍に増加し、その後緩やかに減少していることがわかります。

※平成12年以前のベトナムはその他に含む。

◆今後の公表予定◆

平成29年2月～4月 就業状態等基本集計結果（人口の労働力状態、就業者の産業・職業別構成に関する結果）

平成29年9月 世帯構造等基本集計結果（母子・父子世帯、親子の同居等の世帯の状況に関する結果）

平成28年度に開催された登録調査員研修を紹介します

都道府県別登録調査員研修



今後広がっていくであろうオンライン調査。
今年度は初めてパソコンを用いた講義が実施され、実際に電子調査票に入力して理解を深めていただきました。来年度も実施予定の研修ですので、多くのかたの参加をお待ちしています。

会場・開催日

東部会場(県庁)	11月28日(月)
中部会場(県立倉吉体育文化会館)	11月29日(火)
西部会場(県西部総合事務所)	11月30日(水)

ICT

I=インフォメーション(情報)
C=コミュニケーション(伝達・やりとり)
T=テクノロジー(技術)

以前はITと言われていたものが、
今はICTと言われています。

内容

- 1、講義「統計調査について」
 - ・調査結果と今後の公表予定
 - ・来年度以降の周期調査
 - ・今後の統計調査
- 2、講義「すぐにわかる、ICTを活用した調査員活動」
 - ・第一印象の重要性と仕事上のマナー
 - ・正しいコミュニケーションの取り方
 - ・オンライン調査について
 - ・ケース別 調査対象への対応
 - ・危険を感じた時の対応
- 3、グループ討議

講義「すぐにわかる、ICTを活用した調査員活動」の内容を一部紹介します！

まずは、接遇についての話がありました。



(株) 日本旅行 ふもと 麓 一美講師

- ・約束している訪問時間より5分～10分早く着いてしまったら、「お約束の時間より早く着いてしまって申し訳ありません」などと一言添えると好印象です。
- ・「たぶんこうだと思う」「自分はこう思う」は正確性に欠けます。分からなければ次回正確な情報を伝えましょう。
- ・「恐れ入りますが」「お手数ですが」などのクッション言葉は使い慣れていただきたい。
- ・口調、語調、語尾を優しくしましょう。
- ・話を聴いている途中にメモをとることも話をさえぎることにつながります。「大事なところはメモを取りますね」などと初めから伝えましょう。

自分が何を言ったかではなく、相手にどのように伝わったか。自分が何を伝えたかではなく、相手がどのように受け止めたか。それがコミュニケーションの考え方です！

講義では、実際に国勢調査で使用された電子調査票に入力し、皆さん熱心にパソコンに向かわれていました。

- ・情報を全て入力すると、入力した内容を確認する画面が出てきます。
オンライン調査では、入力内容確認画面の後、送信画面へ進み、送信ボタンを押さないと回答が完了したことにはならないので要注意です。





オンライン調査は、回答されるかたにとって次のようなメリットがあります。

- ・都合の良いときに回答できる。
- ・他人の目に触れることなく回答できる。
- ・電子調査票の入力チェック機能によりデータの入力ミスを防ぐことができる。

登録調査員初任者研修

昨年度から実施している初任者研修を今年度も実施しました。
 こちらの研修は、市町村から推薦されたかたに受講していただいているもので、講義のほか、ベテラン調査員を助言者として招き、グループ討議を行っています。
 参加者からは、「少人数だったので全員が発言でき良かった」「調査員の仕事をすごく簡単に考えていたので、気を引き締めていかないといけないと感じた」「ベテラン調査員が受けてもためになる講義だと思う」などの感想をいただきました。

会場・開催日

東部会場（県庁）	5月 9日（月）
中部会場（県中部総合事務所）	5月10日（火）
西部会場（県西部総合事務所）	5月11日（水）



内容

- 1、講義「統計調査の基礎的・実践的内容」
 - ・統計の役割
 - ・統計調査の仕組み
 - ・統計調査員の役割
 - ・統計法規
- 2、講義「不適切な調査活動の事例」
- 3、講義「統計調査の活用事例」
- 4、グループ討議
 - 助言者 坂田千恵子調査員（東部）
 - 河原孝徳調査員（中部）
 - 近藤由美子調査員（西部）

登録調査員中央研修

各地域で中核的・指導的な役割を担う予定の登録調査員として資質向上を図ることを目的に、5年以上の経験を持つかたを対象として総務省が実施している研修です。
 今年度は、鳥取市の太田信一郎調査員と湯梨浜町の山下征夫調査員が参加され、全国から集まった約100名の参加者と研修を受けてられました。

会場・開催日

総務省統計局（東京都） 12月12日（月）～13日（火）

内容

- 1、講義
「苦情対応の実践とストレスマネジメント」
- 2、班別討議「調査対象の把握、確認方法」
- 3、講義「ビッグデータ時代の統計の価値と利活用事例について」

苦情対応のタブー五箇条

- 1 受入、あいづち、オーム返しがない
- 2 共感がない
- 3 お詫びに気持ちがこもっていない
- 4 すぐ言い訳をする
- 5 すぐ否定する、言い返す

研修テキストより抜粋

栄誉に輝く 平成28年秋の栄典

瑞宝单光章 てしま こうせ 手島 功世 調査員（境港市）



私は、30数年前に市職員として統計の担当に携わらせていただき、退職後も統計調査に協力しています。

その間、総務大臣表彰や経済産業大臣表彰を受賞し、この度、秋の叙勲に際し瑞宝单光章を受章しました。私にとっては身に余る栄誉をいただき誠にありがとうございます。

今日、特に個人情報漏洩の心配やインターネット時代ということがあり、客体への説明の大変さを充分感じています。

長い間、統計調査に携わらせていただいていますのも、調査区のかたがたの御協力と信用、理解の賜物と思います。

今後はこの栄誉に恥じないよう、一層精進し、少しでも社会のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

平成28年度統計功労者表彰式・統計セミナー

平成28年11月14日（月）米子市文化ホールにおいて開催し、約60名のかたに参加いただきました。

統計功労者表彰式



統計に功績のあった調査員や事業所に対し、各省の大臣表彰、鳥取県知事表彰が行われました。

大臣表彰は、総務省統計局統計調査部調査企画課 保高環境整備企画官から、鳥取県知事表彰は岡崎地域振興部長から伝達されました。



総務大臣表彰を受賞された林加代子調査員が受賞者を代表し、「統計調査は政策判断や評価のためだけでなく、企業などの意思決定にも用いられ、住民生活の向上に欠かせない重要なものである一方、そのことは一般的にあまり認識されていません。

個人情報意識の高まりや、高齢化社会などにより、調査活動が難しい時期を迎えておりますが、私自身、活動を通じてその重要性を再認識し、このことをお伝えすることも大切な自分の役目と思い活動して参りました。

時には夜間の繁華街を調査するなど、苦勞することもありましたが、本日栄えある表彰を受けることができましたのも、多くのかたに御支援いただいたからこそです。人とのふれあいを大切にしながら、今後とも一層精進したいと思います。」と述べられました。

統計セミナー

表彰式に引き続き、「統計の確かな情報 大きな安心」と題して、保高企画官にご講演いただきました。

講演では、平成27年国勢調査の結果を中心にお話いただき、現在の日本や鳥取県の姿を具体的に紹介していただきました。

そのほか、データに基づく統計的な思考により課題を解決する能力＝「データサイエンス力」が注目されているということで、人材育成のため総務省が行っているオンライン講座の紹介などもありました。日本では、データサイエンスに関する人材が不足しているため、「データサイエンス力」の高い人材育成とその学習基盤整備が課題となっているということです。



受賞の皆様 おめでとうございます

(敬称略、順不同)

<総務大臣表彰>

労働力調査

調査員 河原 孝 徳 (湯梨浜町)

平成27年国勢調査

指導員 鬼 尾 明 (鳥取市)

指導員 久 葉 俊 二 (湯梨浜町)

指導員 松 本 知 明 (倉吉市)

指導員 山 口 智 久 (日吉津村)

調査員 石 賀 浩 司 (倉吉市)

調査員 奥 村 峰 喜 子 (岩美町)

調査員 荻 田 信 夫 (米子市)

調査員 木 下 信 子 (鳥取市)

調査員 高 多 誠 (琴浦町)

調査員 田 子 玉 枝 (日吉津村)

調査員 田 淵 千 里 (南部町)

調査員 林 加 代 子 (鳥取市)

調査員 御 船 政 子 (三朝町)

調査員 三 好 正 展 (南部町)

各種統計調査

調査員 井 関 絹 江 (鳥取市)

調査員 松 井 正 枝 (湯梨浜町)

<厚生労働大臣表彰>

労働統計関係

事業所 カインズホーム FCウシオ鳥取店 (鳥取市)

事業所 株式会社ジャパンディスプレイ 鳥取工場 (鳥取市)

事業所 公益社団法人 鳥取県 中部医師会立 三朝温泉病院 (三朝町)

事業所 ワタキューセイモア株式会社 中国支店 米子営業所 (米子市)

調査員 山 脇 郁 美 (倉吉市)

<経済産業大臣表彰>

構造統計

調査員 小 徳 收 (境港市)

<経済産業省感謝状>

経済産業省所管統計調査

調査員 松 本 知 明 (倉吉市)

<鳥取県知事表彰>

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 イナバゴム株式会社 (鳥取市)

事業所 オムロンスイッチアンドデバイス株式会社 倉吉事業所 (倉吉市)

永年従事調査員

調査員 景 俊 郎 (境港市)

調査員 小 泉 雅 子 (鳥取市)

調査員 澤 田 春 美 (琴浦町)

調査員 鶴 野 麻 利 江 (琴浦町)

調査員 松 原 賢 二 (三朝町)



平成29年度に実施される

統計調査（調査員調査）の一覧

(平成29年3月1日現在)

調査名・調査基準日等	周期調査		経常調査									
	総務省		総務省					厚生労働省		経済産業省		鳥取県
	就業構造基本調査	住宅・土地統計調査 【単位区設定】	労働力調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査 (第二種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	工業統計調査	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査
市町村	10/1	2/1	毎月	毎月	隔月	毎月	毎四半期	毎月	7/31	6/1	毎月	毎月
鳥取市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
米子市	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○
倉吉市	○	○	○					○	○	○		○
境港市	○	○	○			○		○	○	○		○
岩美町	○	○	○	○				○		○		○
若桜町	○	○								○		
智頭町	○	○	○						○	○		○
八頭町	○	○	○					○	○	○		○
三朝町	○	○						○	○	○		○
湯梨浜町	○	○					○			○		
琴浦町	○	○	○					○	○	○		○
北栄町	○	○	○							○		○
日吉津村	○	○	○					○	○	○		
大山町	○	○	○					○		○		○
南部町	○	○						○		○		○
伯耆町	○	○	○						○	○		○
日南町	○	○								○		
日野町	○	○								○		
江府町	○	○							○	○		○

注1：○印は対象市町村を示す。

注2：毎月勤労統計調査については、実施市町村が変更になることがあります。



平成29年は就業構造基本調査が実施されます！

就業構造基本調査は、普段仕事をしているかどうかや、就業に関する希望などについて明らかにする調査です。

昭和31年から57年まで概ね3年おき、昭和57年以降は5年おきに行われていて、平成29年調査はその17回目に当たります。(基準日10月1日現在) 調査の結果は、国や都道府県などの雇用に関する様々な政策、非正規雇用問題への対応、育児・介護と就業の両立支援などの基礎資料として利用されます。

平成29年調査では、オンライン調査が導入されることとなっています。

雇用形態別雇用者数構成比(平成9年～24年)

